

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>					<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15					2.6
1.1 騒音		2.0	0.40					
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-					
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20					
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.2</b>	0.35					2.2
2.1 室温制御		<b>2.2</b>	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能		3.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		1.0	0.38					
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20					
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30					
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.6</b>	0.25					2.6
3.1 昼光利用		<b>2.4</b>	0.30					
1 昼光率		2.0	0.60					
2 方位別開口			-					
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30					
1 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度		<b>2.0</b>	0.15					
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25					
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.2</b>	0.25					4.2
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50					
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用し、低VOC建材も全面的に採用している。	5.0	1.00					
4.2 換気		<b>3.6</b>	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮	南側に給気口、北側に排気口とし、かつ6m以上離れて設置している。	5.0	0.33					
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-					
2 喫煙の制御		3.0	1.00					
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30					3.4
<b>1 機能性</b>		<b>3.4</b>	0.40					3.4
1.1 機能性・使いやすさ		<b>2.3</b>	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33					
3 バリアフリー計画		1.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		<b>4.3</b>	0.30					
1 広さ感・景観	事務室の天井高さ2.7m	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	執務スペースの21.81%以上のリフレッシュスペースを確保し、自動販売機を設置する計画である。	5.0	0.33					
3 内装計画	明るい執務空間をめざし、白をベースとした清潔感のある空間を計画。	4.0	0.33					
1.3 維持管理		<b>4.0</b>	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	風除室の1次扉と2次扉が同時に開かないよう3mの距離を確保、鳩対策として屋根頂部と庇頂部に防鳥ワイヤーを設置。	5.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.8</b>	0.30					2.8
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水SGP(D)、汚水排水VP(B)、消火SGP(C)	4.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20					

2.4	信頼性		2.2	0.20			
	1	空調・換気設備	1.0	0.20			
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20			
	3	電気設備	3.0	0.20			
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20			
	5	通信・情報設備	1.0	0.20			
3	対応性・更新性		4.1	0.30			4.1
3.1	空間のゆとり		5.0	0.30			
	1	階高のゆとり	平均階高5.47m	5.0	0.60		
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.06	5.0	0.40		
3.2	荷重のゆとり		5.0	0.30			
		倉庫 1F:30000N/㎡,2F:15000N/㎡,3F:20000N/㎡					
3.3	設備の更新性		2.8	0.40			
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20			
	2	給排水管の更新性	2.0	0.20			
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10			
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10			
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20			
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20			
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.40			3.0
1	生物環境の保全と創出		3.0	0.30			3.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30			3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50			
	3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50			
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-			3.5
LR1	エネルギー		-	0.40			4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.662	5.0	0.01			5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.12			3.0
3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) -	5.0	0.62			5.0
		集合住宅以外の評価(3a,3b)	5.0	1.00			
		集合住宅の評価(3c)		-			
4	効率的運用		3.0	0.25			3.0
		集合住宅以外の評価	3.0	1.00			
	4.1	モニタリング	3.0	0.50			
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50			
		集合住宅の評価		-			
	4.1	モニタリング		-			
	4.2	運用管理体制		-			
LR2	資源・マテリアル		-	0.30			2.8
1	水資源保護		3.4	0.20			3.4
	1.1	節水	定風量弁内蔵型自動水栓を採用し、節水型便器を採用	4.0	0.40		
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		
		1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70		
		2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30		
2	非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60			2.6
	2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20			
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.10			
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.20			
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20			3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30			
	3.2	フロン・ハロンの回避	3.0	0.70			
		1	消火剤	-	-		
		2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50		
		3	冷媒	3.0	0.50		
LR3	敷地外環境		-	0.30			3.4
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出量=76%	3.9	0.33			3.9
2	地域環境への配慮		3.5	0.33			3.5
	2.1	大気汚染防止	3.0	0.25			
	2.2	温熱環境悪化の改善	「見付け面積比24.7」、「隣棟間隔指標Rw0.61」	4.0	0.50		
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3.0	0.25			
		1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25		
		2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25		
		3	交通負荷抑制	3.0	0.25		
		4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25		
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33			3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40			
		1	騒音	3.0	1.00		
		2	振動	-	-		
		3	悪臭	-	-		
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制	3.0	0.40			
		1	風害の抑制	3.0	0.70		
		2	砂塵の抑制		-		
		3	日照障害の抑制	3.0	0.30		
	3.3	光害の抑制	3.0	0.20			
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70		
		2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		